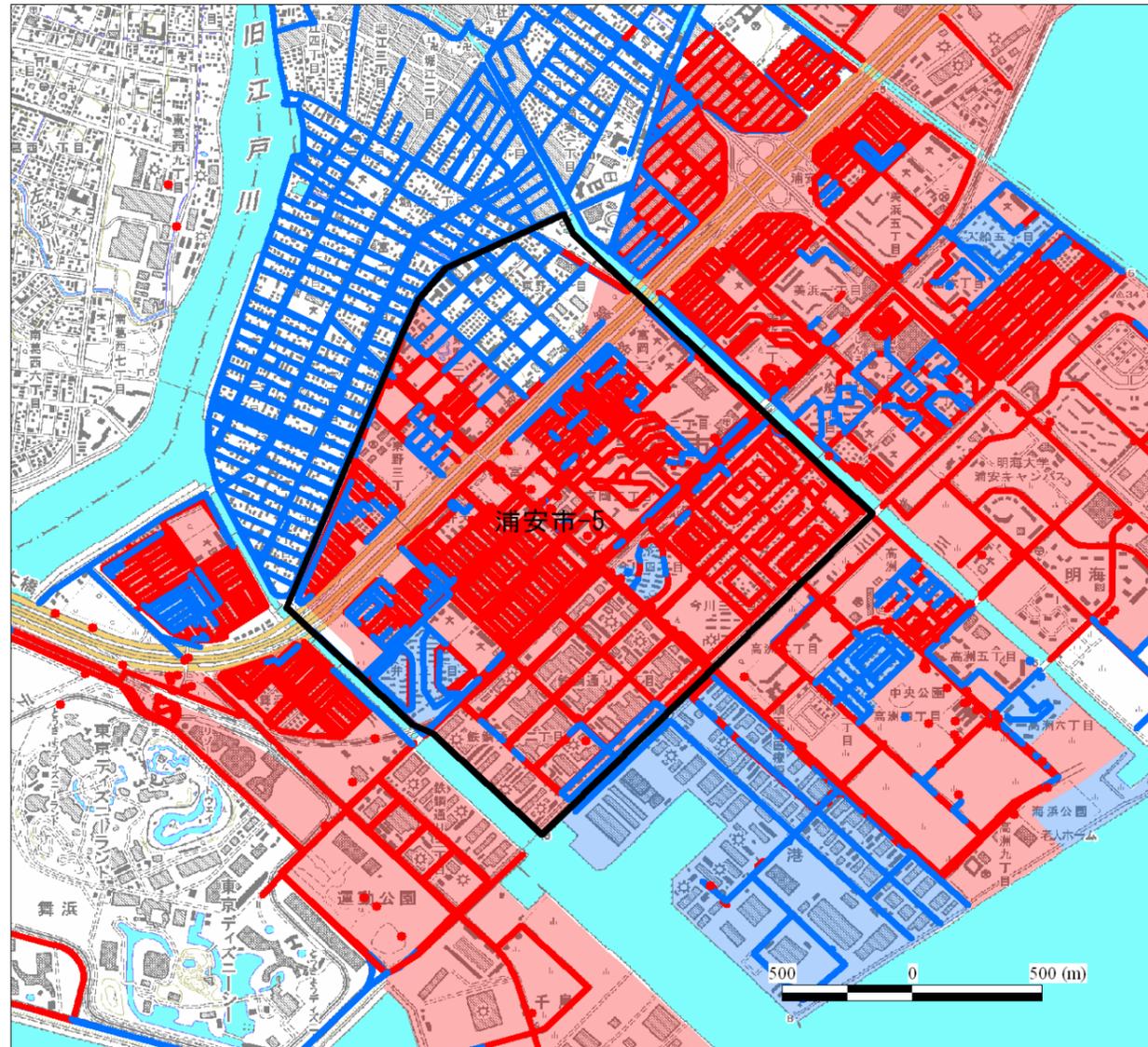
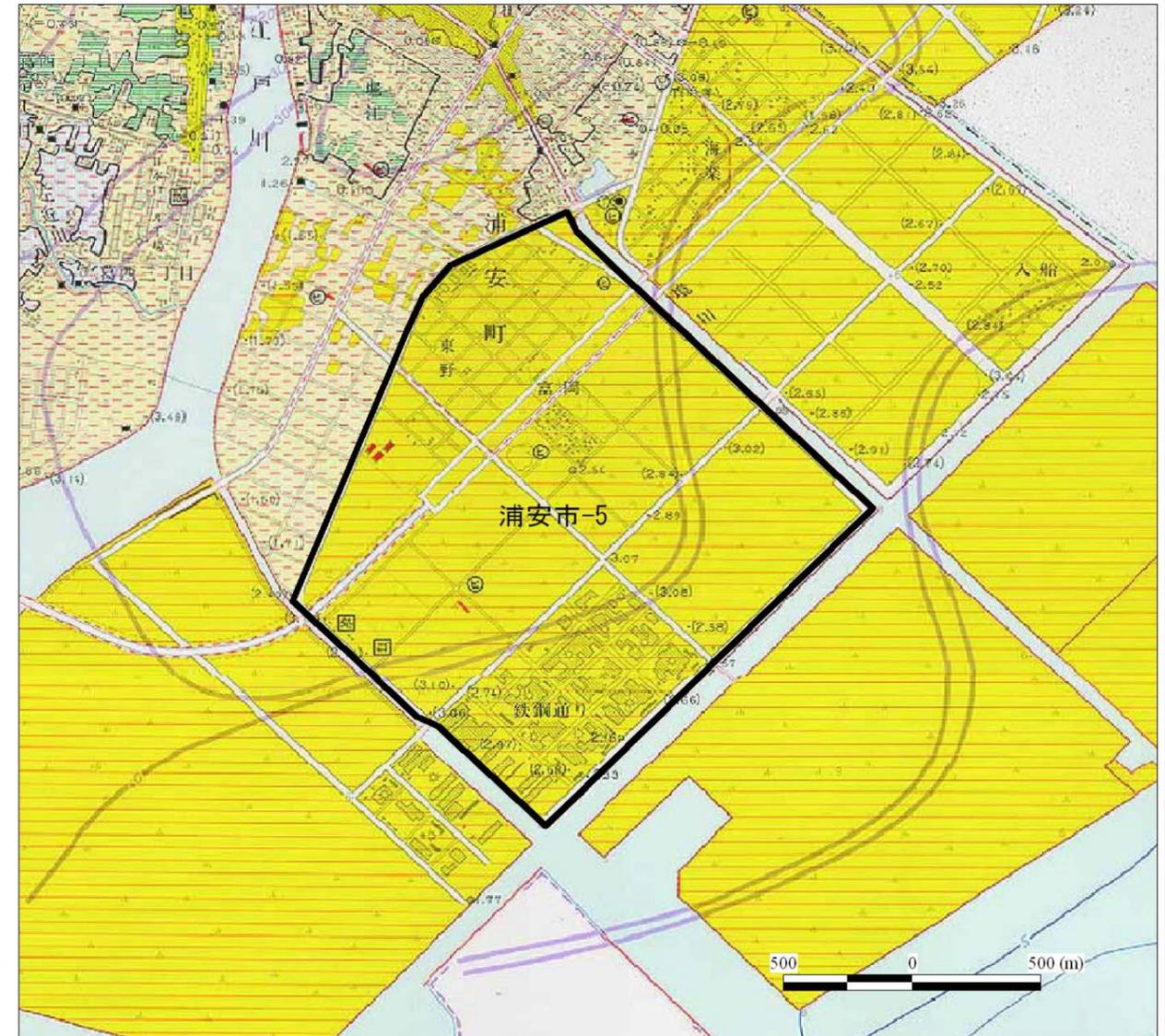


箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	1/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	当街区で液状化発生はみられていないが、北東側の街区では1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生			
土地改変履歴	1948年から1968年にかけて埋土。							
被害概要	東野1丁目、弁天3丁目等被害がみられない街区があるが、その他の街区ではほぼ全域で液状化が発生。首都高湾岸線の路面でも噴砂が発生。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会、首都高速道路株式会社							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

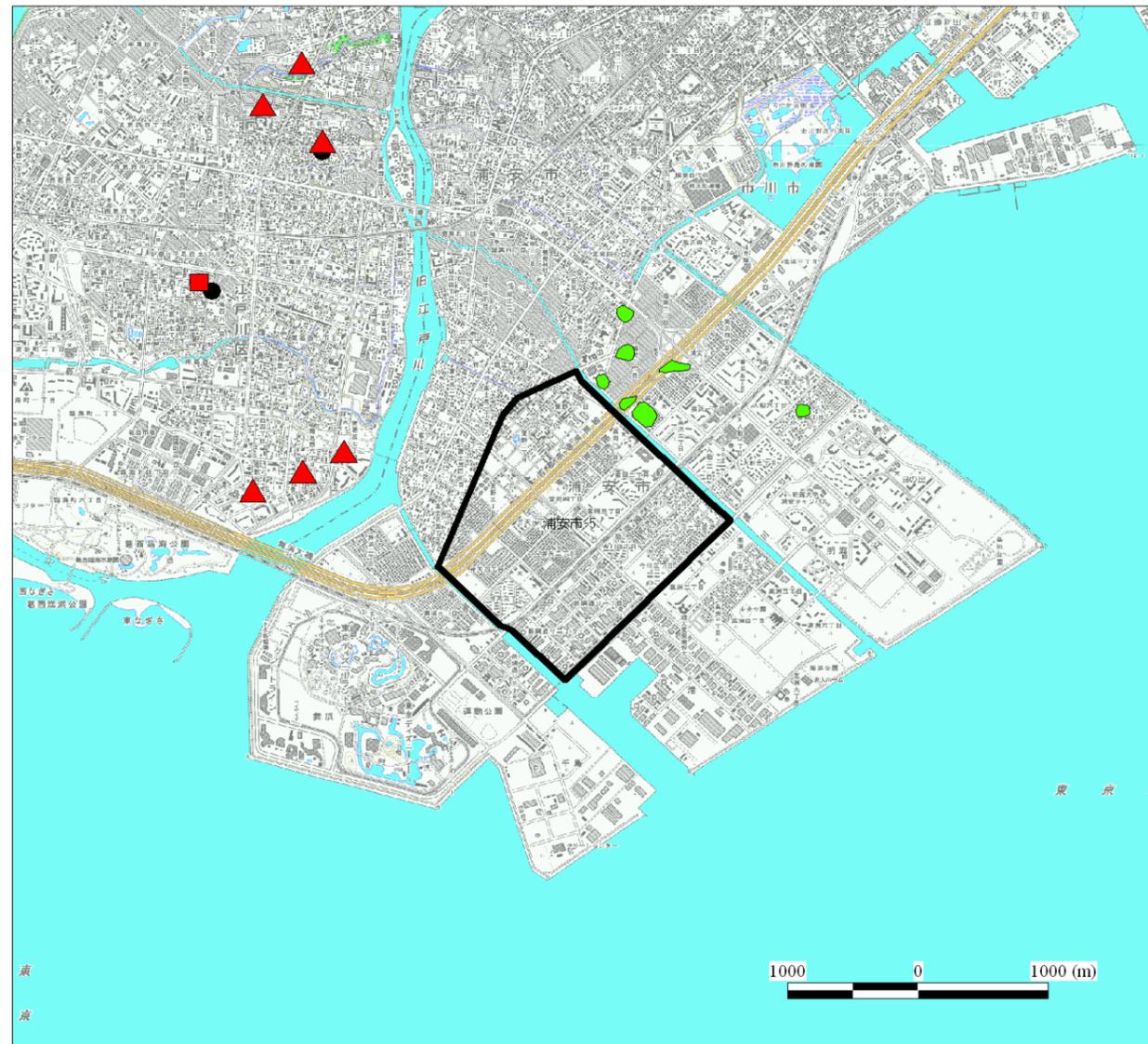


土地条件図 (Land condition map)



箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	2/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	当街区で液状化発生はみられていないが、北東側の街区では1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生			
土地改変履歴	1948年から1968年にかけて埋土。							
被害概要	東野1丁目、弁天3丁目等被害がみられない街区があるが、その他の街区ではほぼ全域で液状化が発生。首都高湾岸線の路面でも噴砂が発生。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大		被害の程度	大		
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会、首都高速道路株式会社							

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

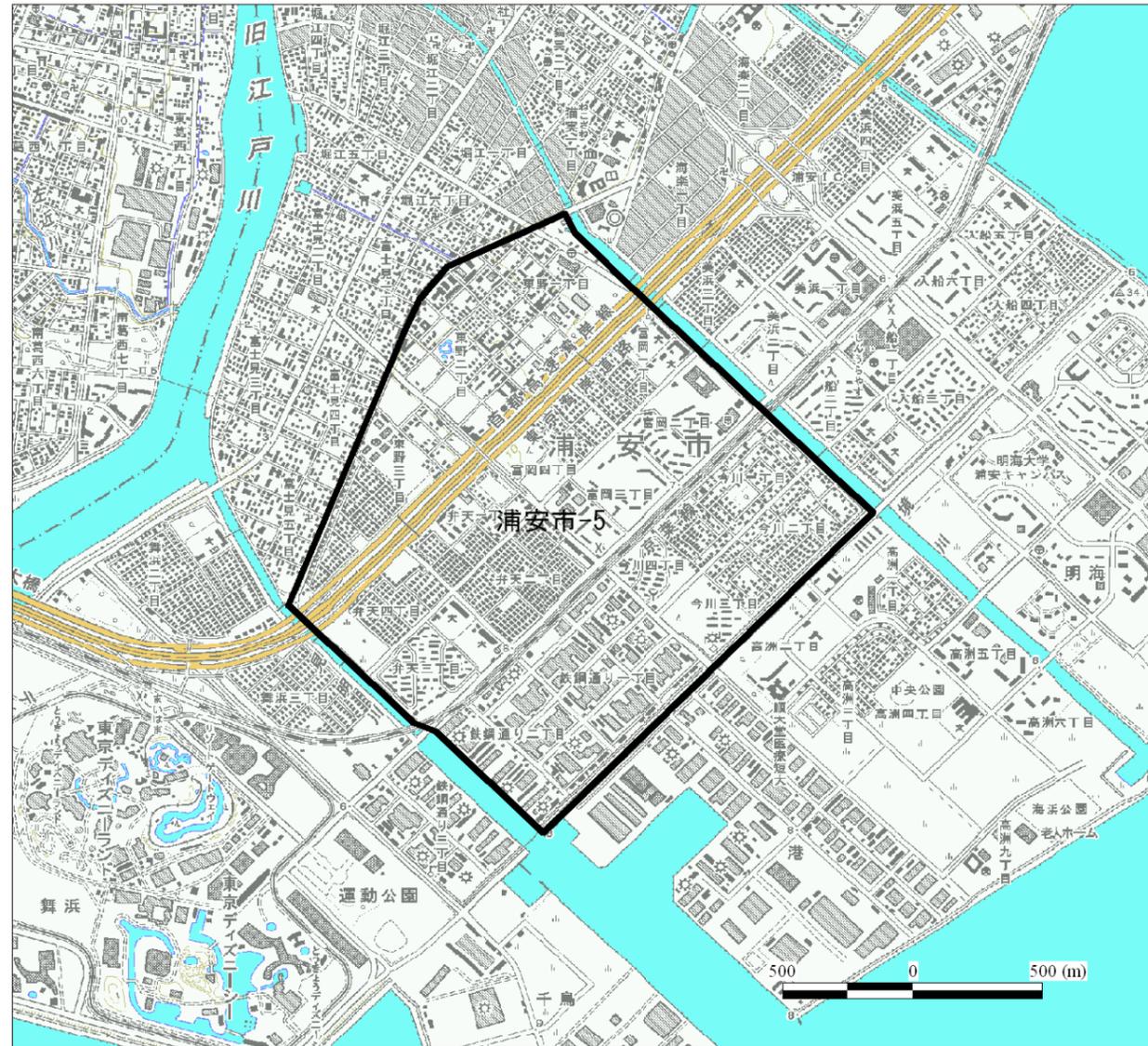


航空写真(2011年3月17日撮影)



箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	3/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	当街区で液状化発生はみられていないが、北東側の街区では1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生			
土地改変履歴	1948年から1968年にかけて埋土。							
被害概要	東野1丁目、弁天3丁目等被害がみられない街区があるが、その他の街区ではほぼ全域で液状化が発生。首都高湾岸線の路面でも噴砂が発生。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会、首都高速道路株式会社							

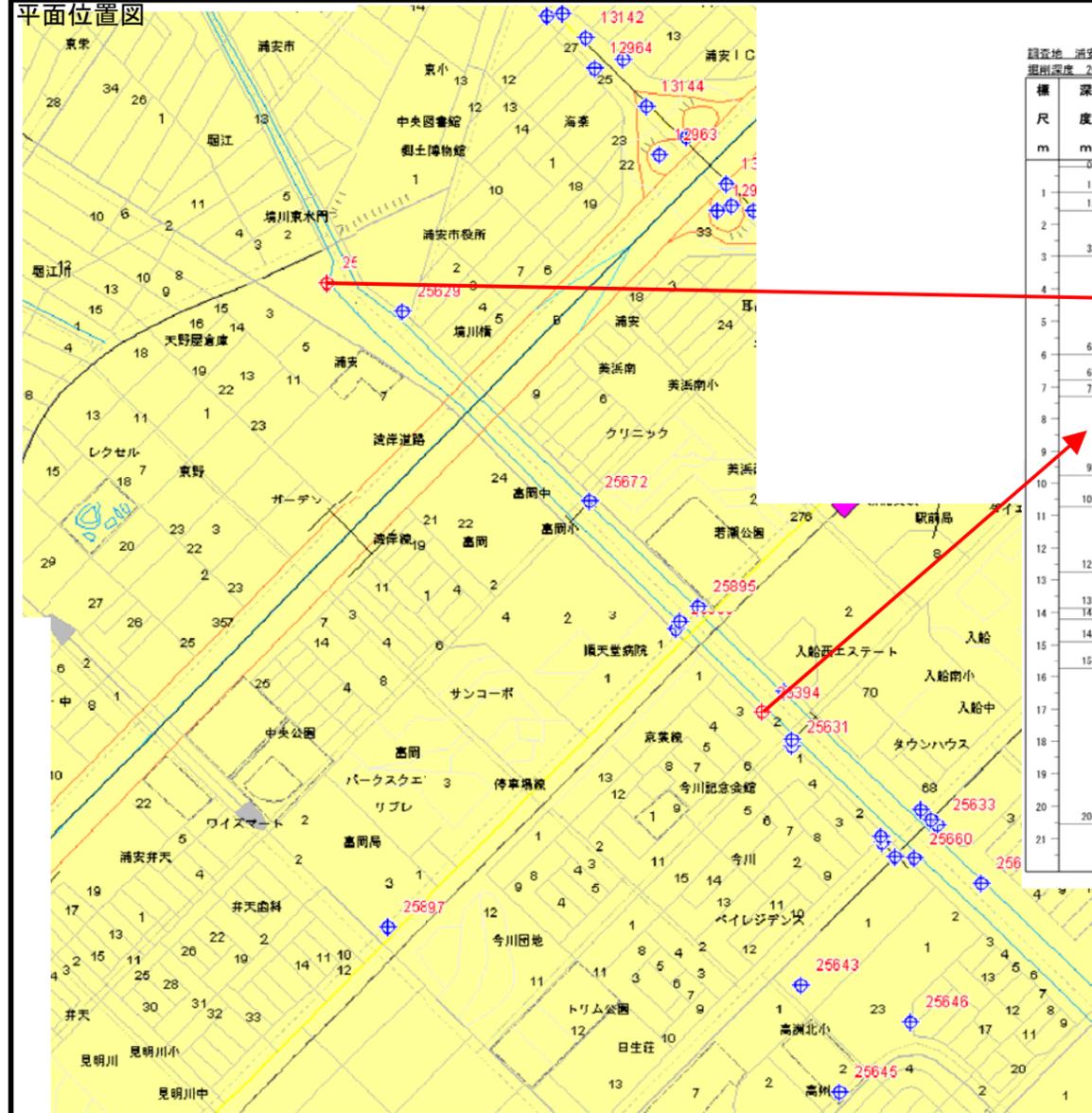
地形図(数値地図25000)



1/20000迅速図:明治13年測量



箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	4/6
地下水位	GL-2.99~3.12m	液状化対象層(層厚、深度)	B1 Bs,As GL-0~14.2m(14.2m) B2 Bs,As,Asc GL-0~15.45m(15.45m)					
湿潤密度 ρ_t		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値	B1 2~21 B2 1~24	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL				



B1(液状化)

調査地 浦安市今川1丁目 掘削深度 20.56m 孔口標高 AP 4.68m 観測水位 GL -3.12m

メッシュコード 53393773 調査年月 1998年6月

標尺	深度	地質柱状	層相	色調	観察記事	標準貫入試験					標尺
						回/cm	N値				
	0.20				上部5cm、アルファルト、以深、純淨、粘土細かい、粘土を少量混る。						
	1.00				粘土不均一、1.1~1.15m、粘土。	8/30					
	1.60				貝殻破片を混る。2.3m、粘土を薄く挟む。	2/30					
	3.00				浮石の層を挟む。含水大、4.1m、粘土を1cm挟む。	4/35					
	4.00					4/33					
	5.00					2/30					
	6.00				粘土不均一、貝殻破片を混る。	4/30					
	6.80				腐植物混る。	12/30					
	7.30				全体に浮石混る。上部、腐植物混る。8.4m、腐植物混る。8.6~8.7m、粘土、9m、粘土不均一。	11/32					
	9.75				腐植物の層を挟む。	11/31					
	10.75				11m、粘土不均一、浮石、腐植物の層を挟む。12m、粘土を少量混る。腐植物混る。	21/30					
	12.75				均質、貝殻破片を混る。	8/32					
	13.85				粘土不均一、含水大。	3/36					
	14.20				均質である。	4/33					
	14.90				均質である。15.2~15.25m、細砂。	9/30					
	15.75				均質、非常に軟かい。18mより貝殻破片混る。20mより暗青灰色。	1/50					
	17.00					1/50					
	17.50					1/50					
	18.00					0/41					
	20.56										

出典:千葉県地質環境インフォメーションバンク

B2(非液状化)

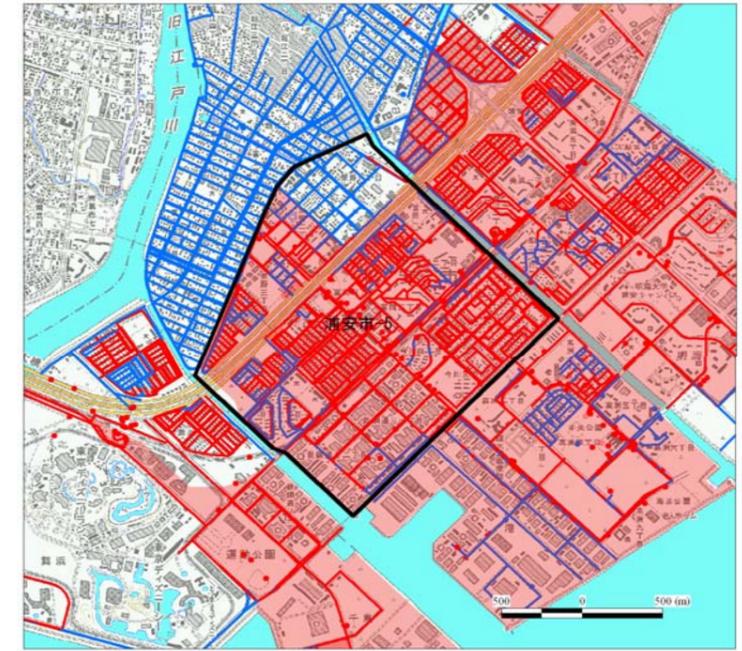
調査地 浦安市東野1丁目 掘削深度 15.45m 孔口標高 AP 3.94m 観測水位 GL -2.99m

メッシュコード 53393772 調査年月 1987年3月

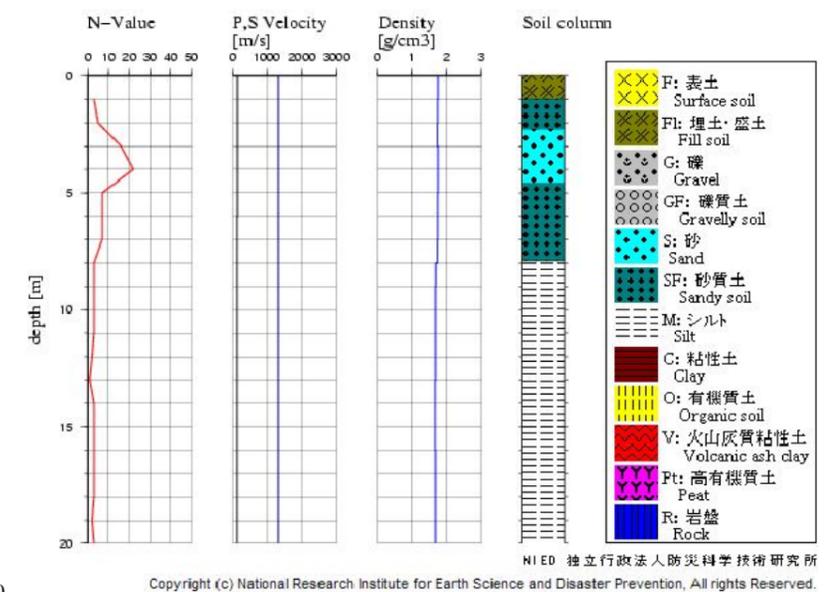
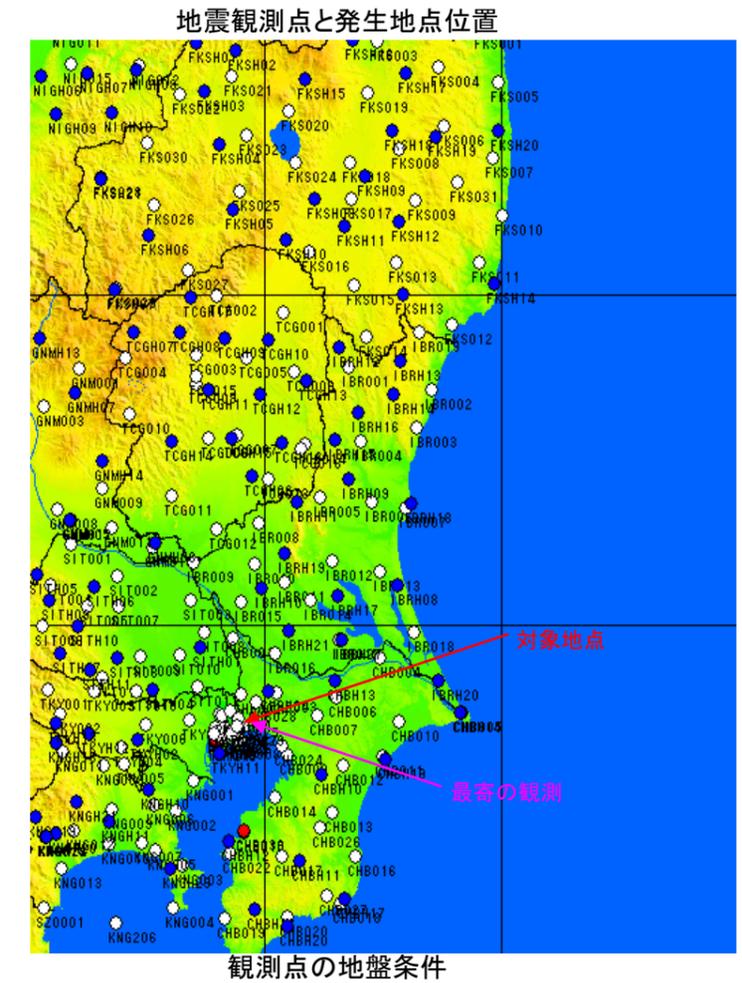
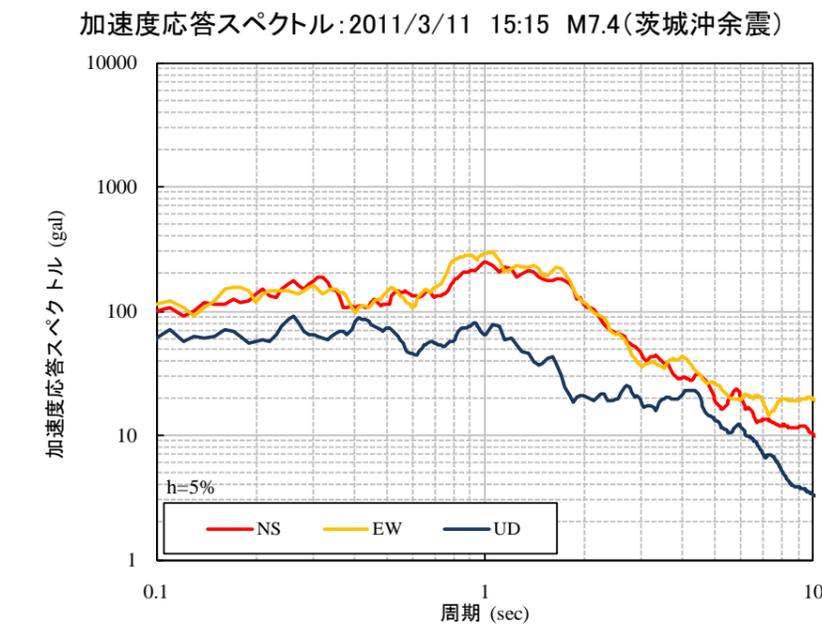
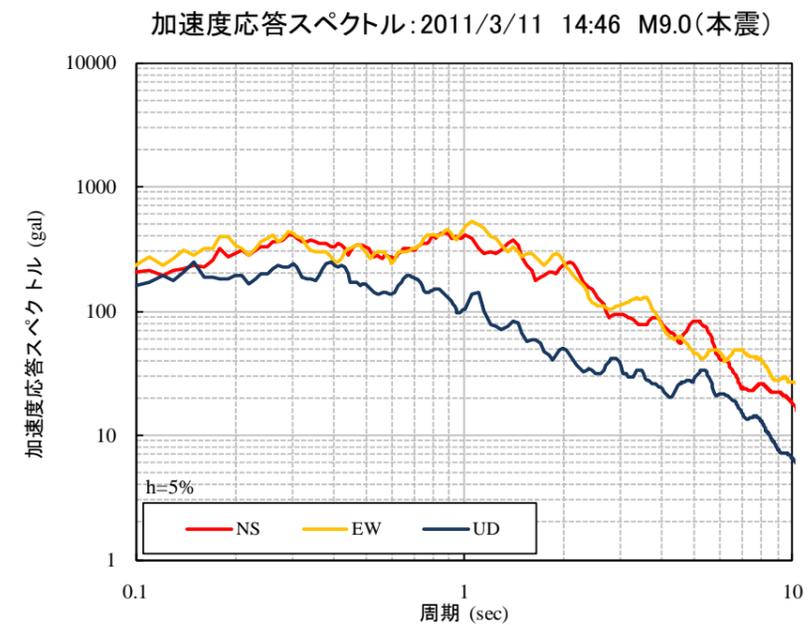
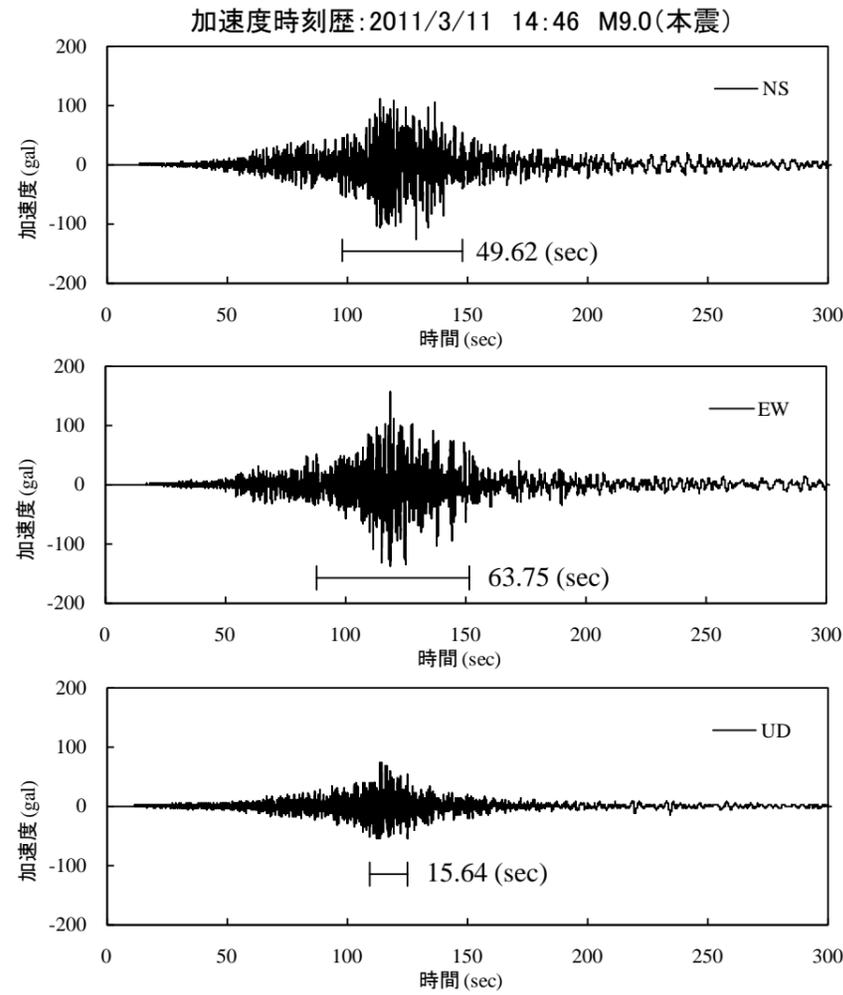
標尺	深度	地質柱状	層相	色調	観察記事	標準貫入試験					標尺
						回/cm	N値				
	0.20				細砂主体、貝殻片を少量混る。0~0.4m、コンクリート片、ガワ。						
	2.10				粘土不均一、貝殻片、小礫を混る。下部、シルトを挟む。	5/30					
	3.55				5m、砂をポケット状に混る。6m、砂を一種に混る。4.4m、木片を混る。	1/40					
	6.70				粘土不均一、10m、シルトを混る。9m、10m、腐植物片を混る。	3/30					
	10.60					1/30					
	15.45				全体に砂を混る。11m、13m、砂を互層状に挟む。	24/30					
						9/30					
						6/30					
						3/30					
						3/30					
						2/30					

千葉県地質環境インフォメーションバンク

出典:千葉県地質環境インフォメーションバンク



箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	5/6			
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET浦安(CHB008)	対象地点との距離(km)	1.4	最大加速度	174.3	最大速度	31.8	継続時間 (50gal以上)(s)	63.75
	(gal)					82.3	(kine)	16.2			
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5強	出典	防災科学技術研究所HP				



箇所名	浦安市-5	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	今川, 弁天, 富岡, 東野, 鉄鋼通り	6/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	当街区で液状化発生はみられていないが、北東側の街区では1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生			
土地改変履歴	1948年から1968年にかけて埋土。							
被害概要	東野1丁目、弁天3丁目等被害がみられない街区があるが、その他の街区ではほぼ全域で液状化が発生。首都高湾岸線の路面でも噴砂が発生。							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会、首都高速道路株式会社							

原忠(高知大学)2011/3/12、3/18

被害状況(千葉県浦安市新浦安)



中央公園南



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 道路に凹凸
- ✓ 埋設管が浮き上がる

富岡交番



- ✓ 建築構造物の不同沈下
- ✓ 液状化により北側に約2~3°傾斜

首都高速道路(株) 提供



富岡2丁目
境川堤防



- ✓ 堤防敷に50cm以上の段差が生じる
- ✓ 法尻に噴砂跡
- ✓ 護岸の移動量: 約2.5cm



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 敷地一帯に噴砂
- ✓ 駐車場に凹凸



- ✓ 団地周囲に噴砂
- ✓ 駐車場の沈下が激しい
- ✓ 建物への影響無し

東畑郁生(東京大学)2011/3/18



中央公園野球場



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 歩道一面に噴砂
- ✓ 照明柱が大きく傾く



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 建物周辺に噴砂
- ✓ 沈下量30cm以上



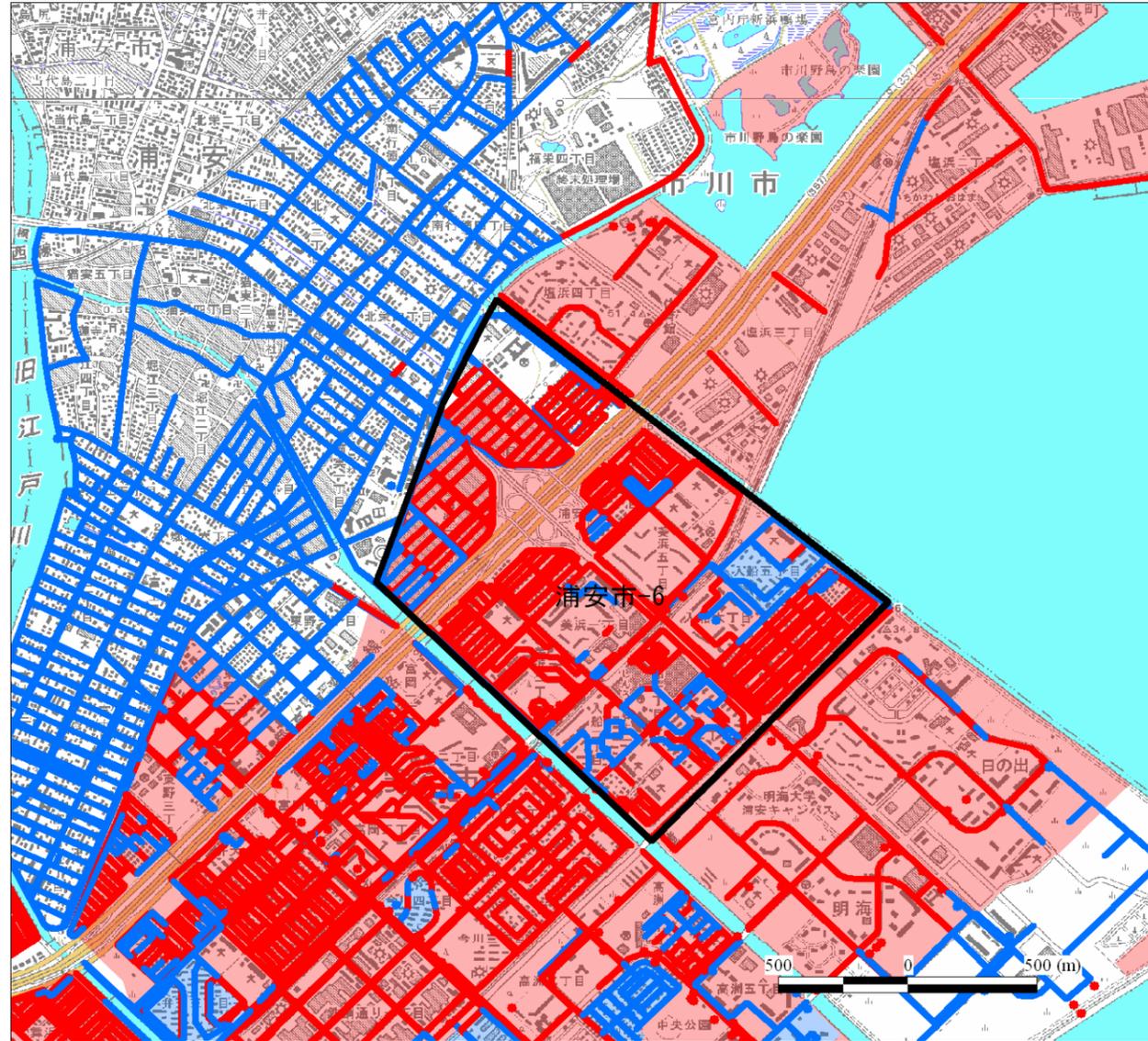
- ✓ 一帯に噴砂
- ✓ 歩道の沈下が激しい
- ✓ 戸建住宅が不同沈下

安田進(東京電機大学)2011/3/

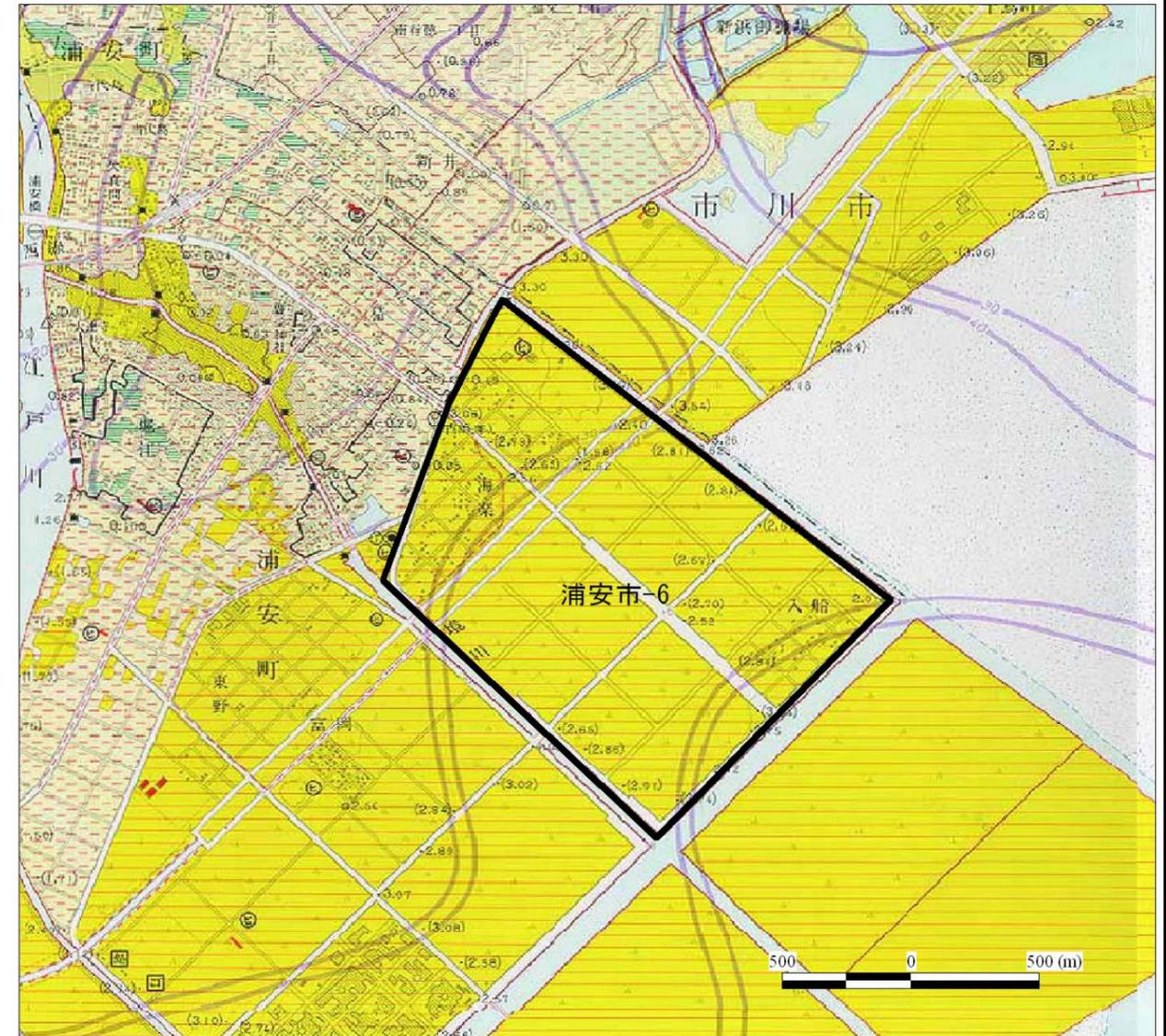


箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	1/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生。今回も同一箇所で液状化が発生。			
土地改変履歴	1968年から1971年にかけて埋土。							
被害概要	入船5丁目、海楽2丁目などで被害がみられない街区があるが、大部分の街区で液状化が発生							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会							

平面図 (赤色は液状化、青色は非液状化を示す。面的着色は、専門家が現地調査結果に地形・地質情報等を加味して、その範囲を推定したものであり、その境界位置は厳密なものではない)

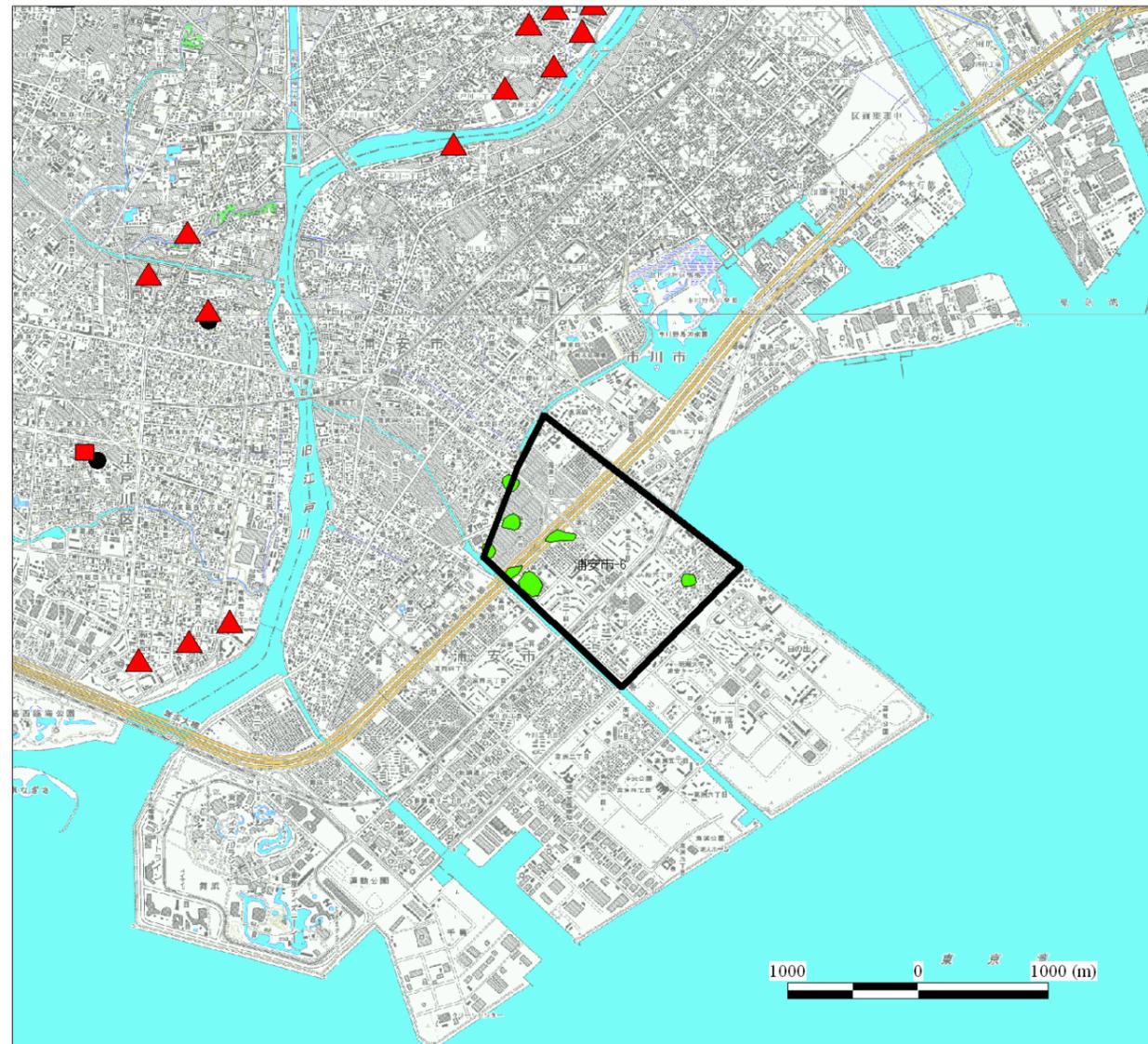


土地条件図



箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	2/6	
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生。今回も同一箇所でも液状化が発生。				
土地改変履歴	1968年から1971年にかけて埋土。								
被害概要	入船5丁目、海楽2丁目などで被害がみられない街区があるが、大部分の街区で液状化が発生								
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大					被害の程度	大
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明委員会								

日本の液状化履歴マップ745-2008(若松加寿江著)

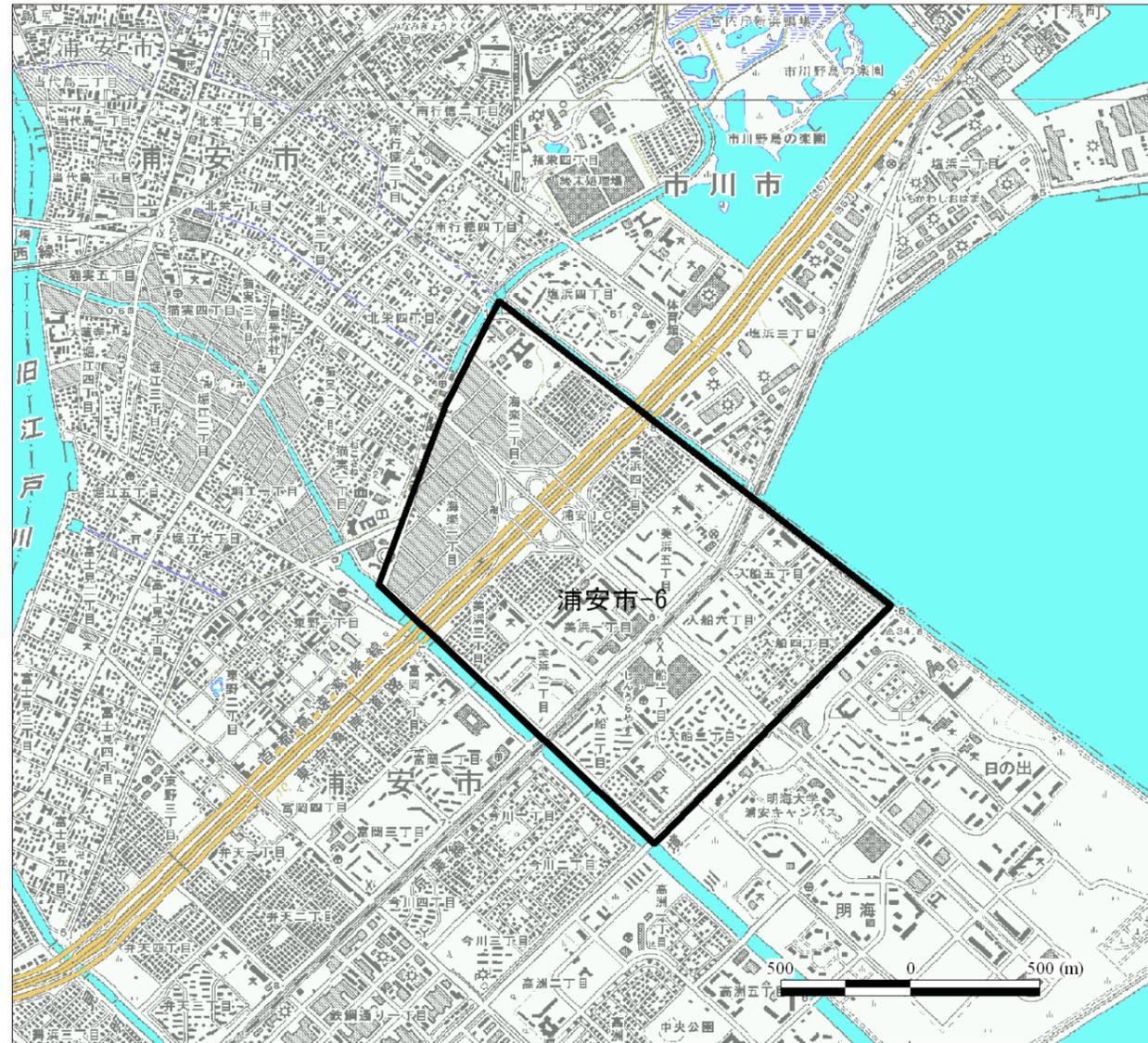


航空写真(2011年3月17日撮影)

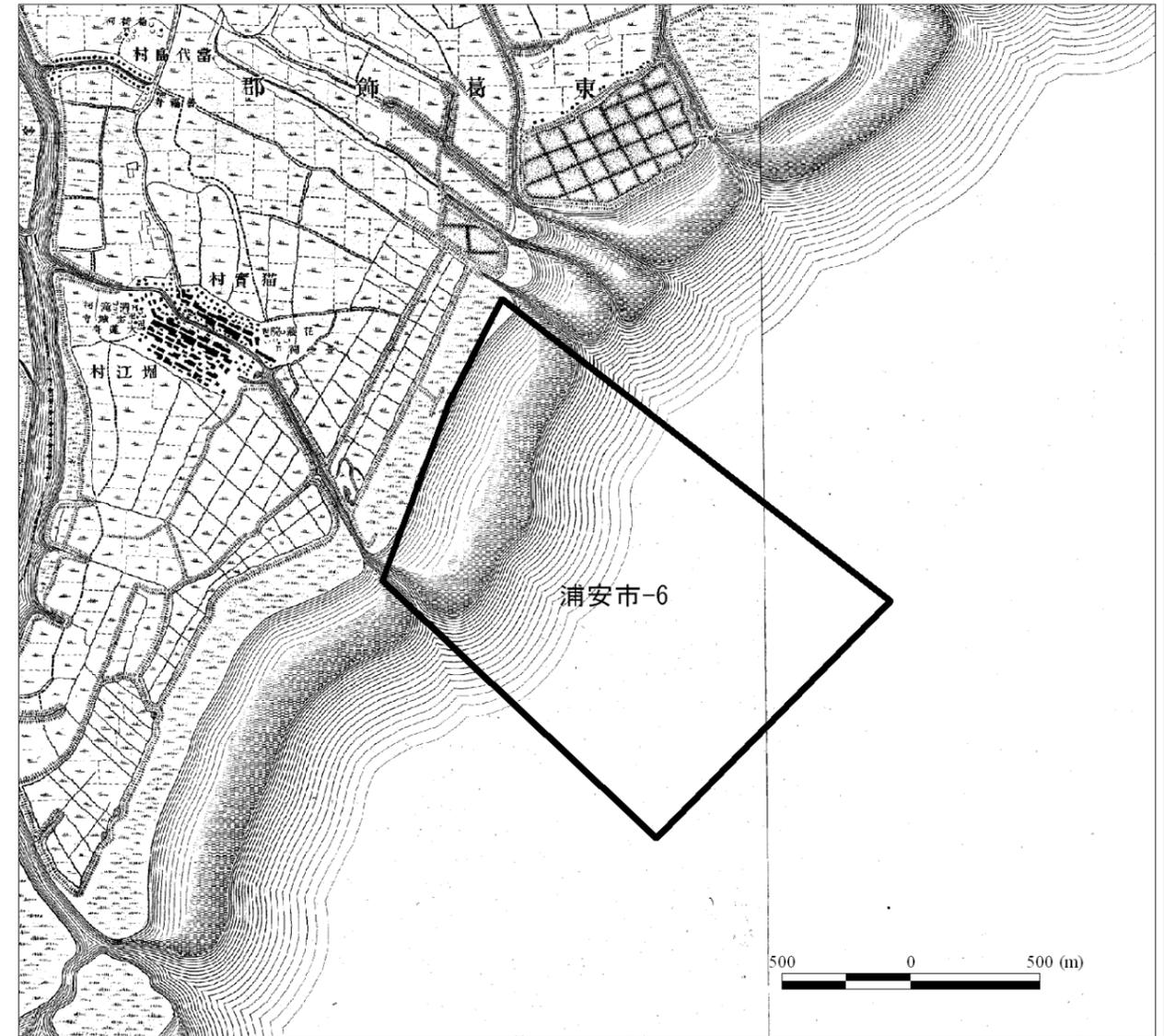


箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	3/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生。今回も同一箇所でも液状化が発生。			
土地改変履歴	1968年から1971年にかけて埋土。							
被害概要	入船5丁目、海楽2丁目などで被害がみられない街区があるが、大部分の街区で液状化が発生							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大			被害の程度	大	
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会							

地形図(数値地図25000)

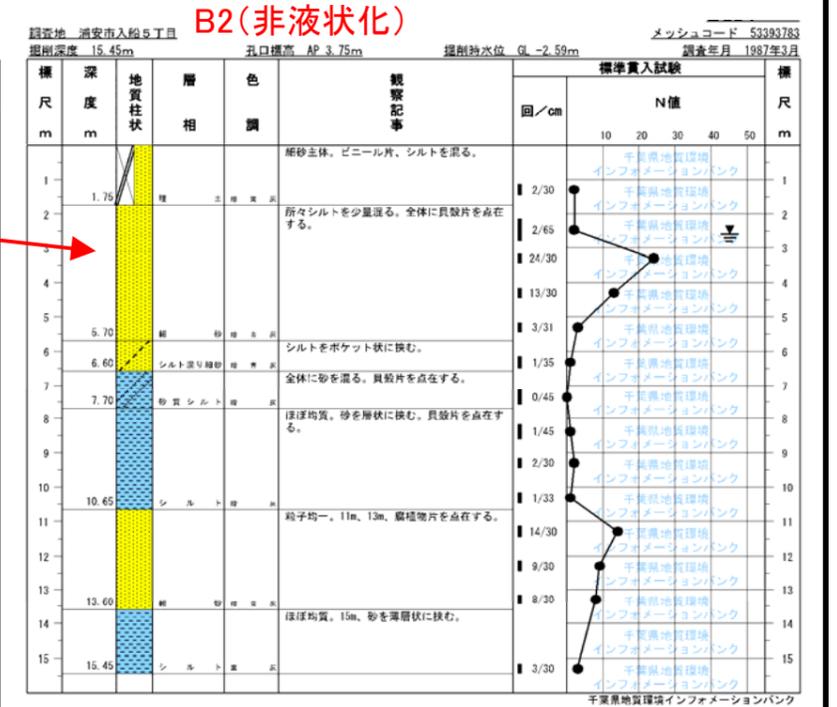
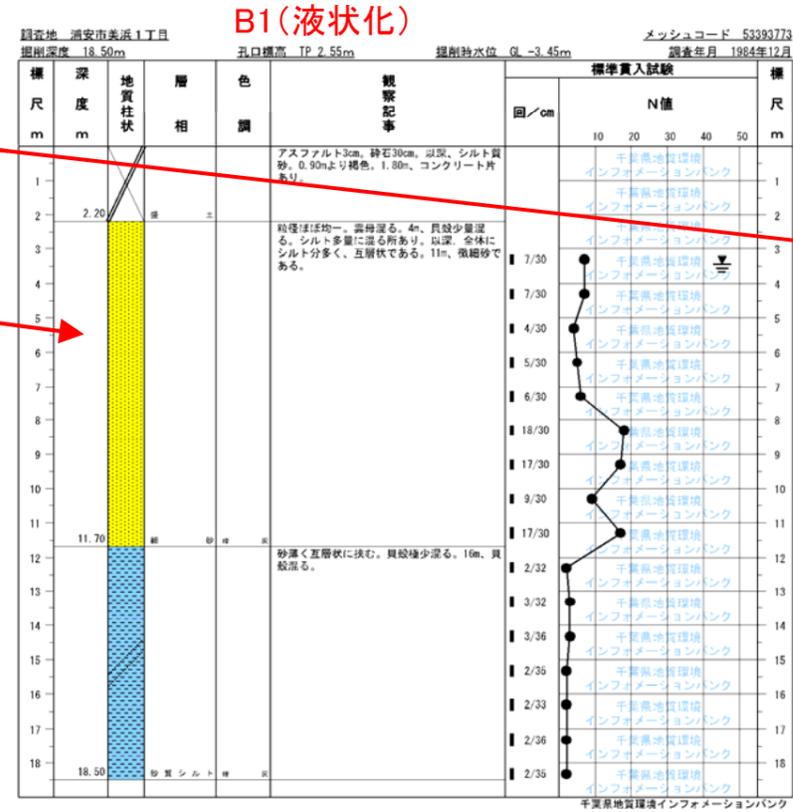
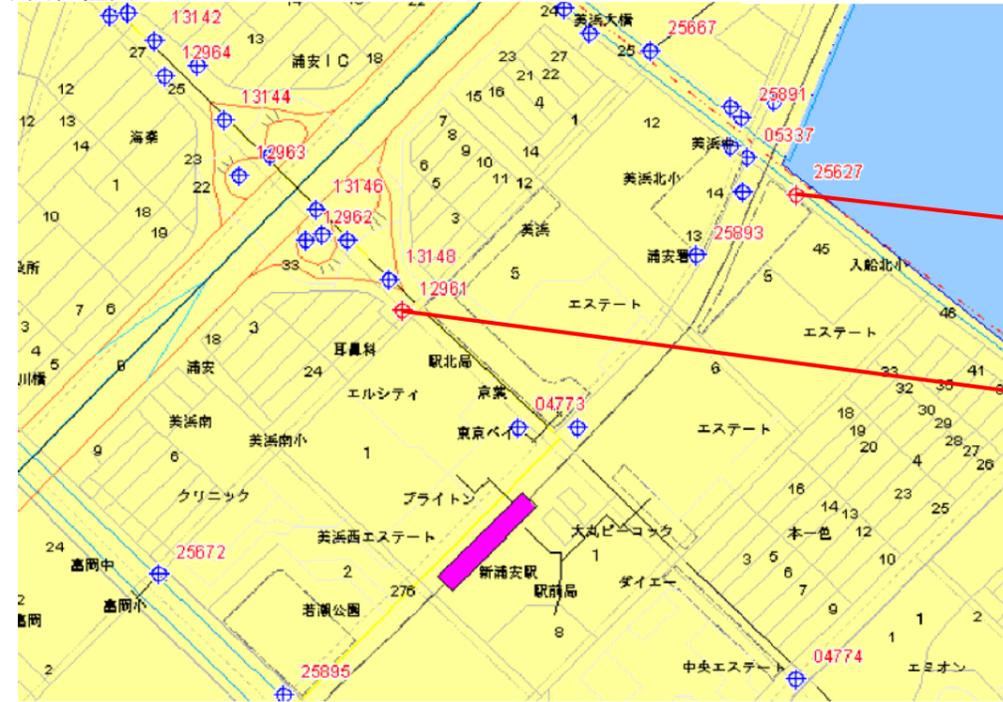


1/20000迅速図:明治13年測量



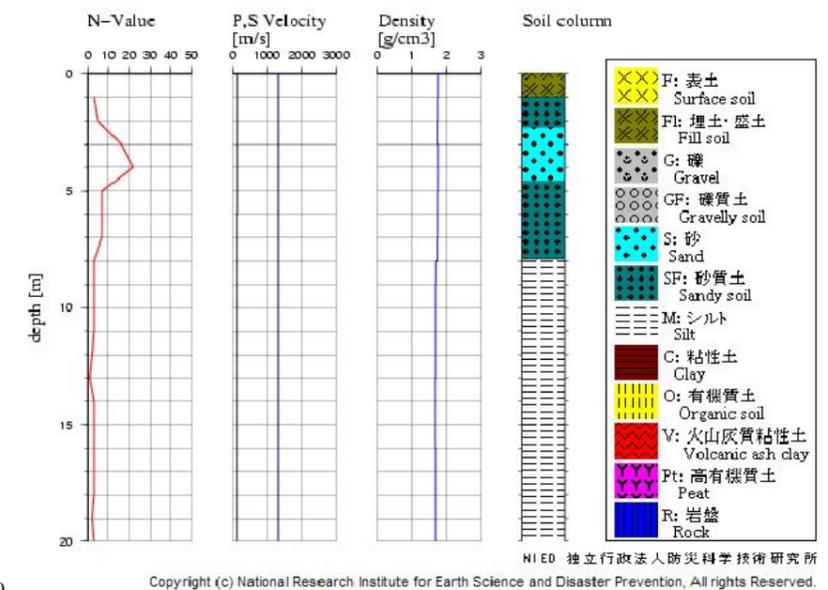
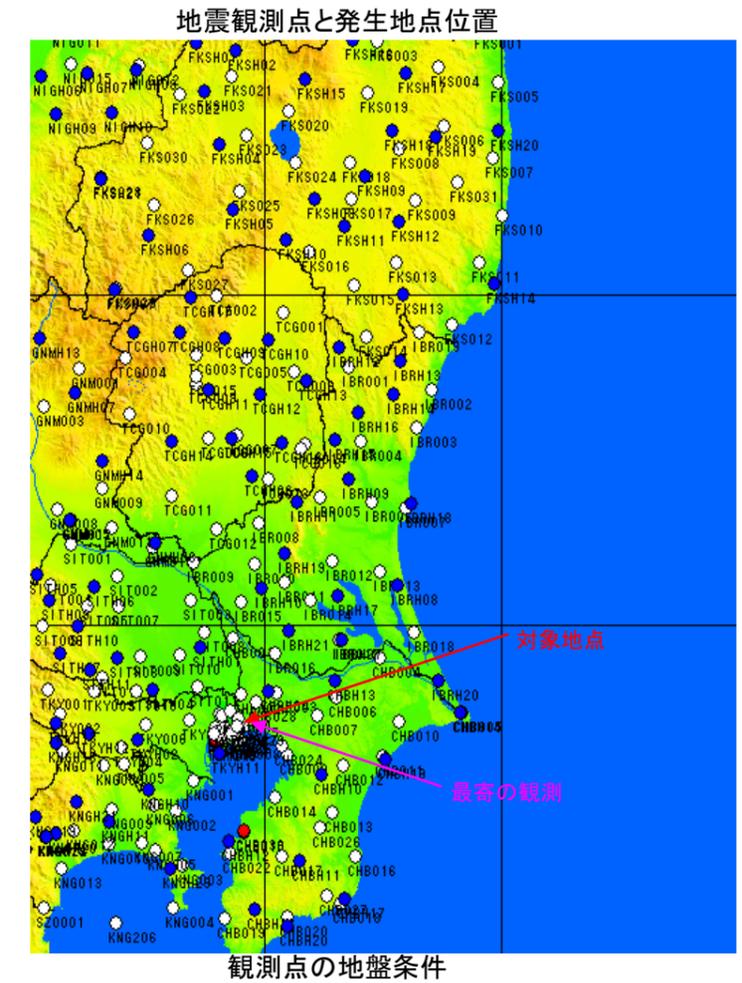
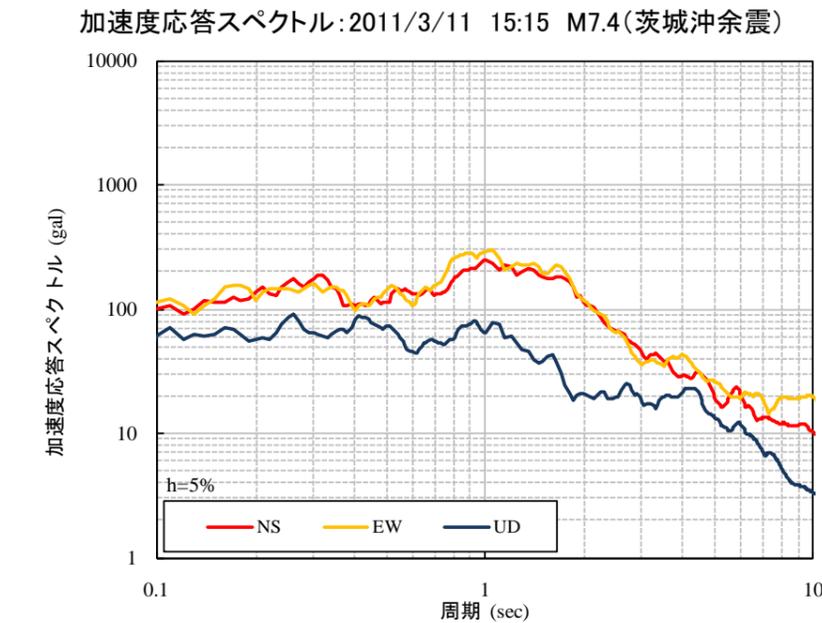
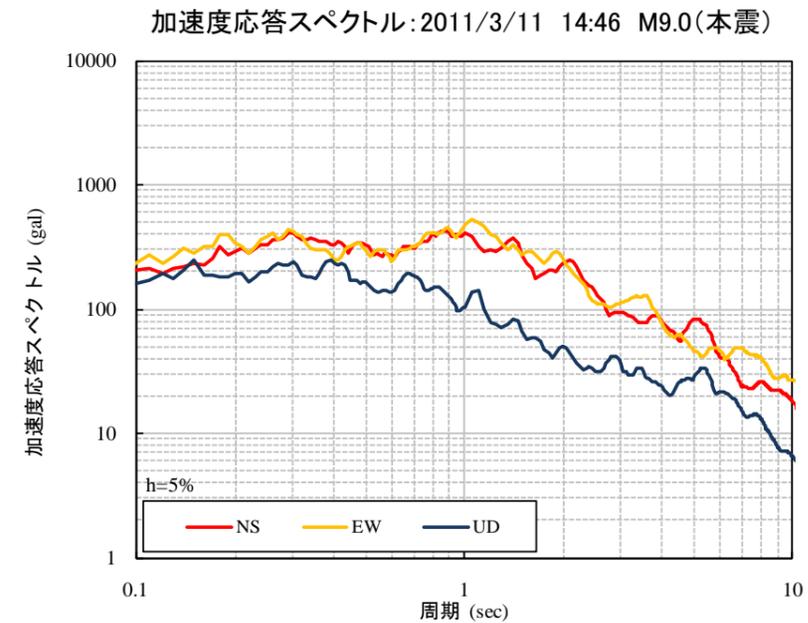
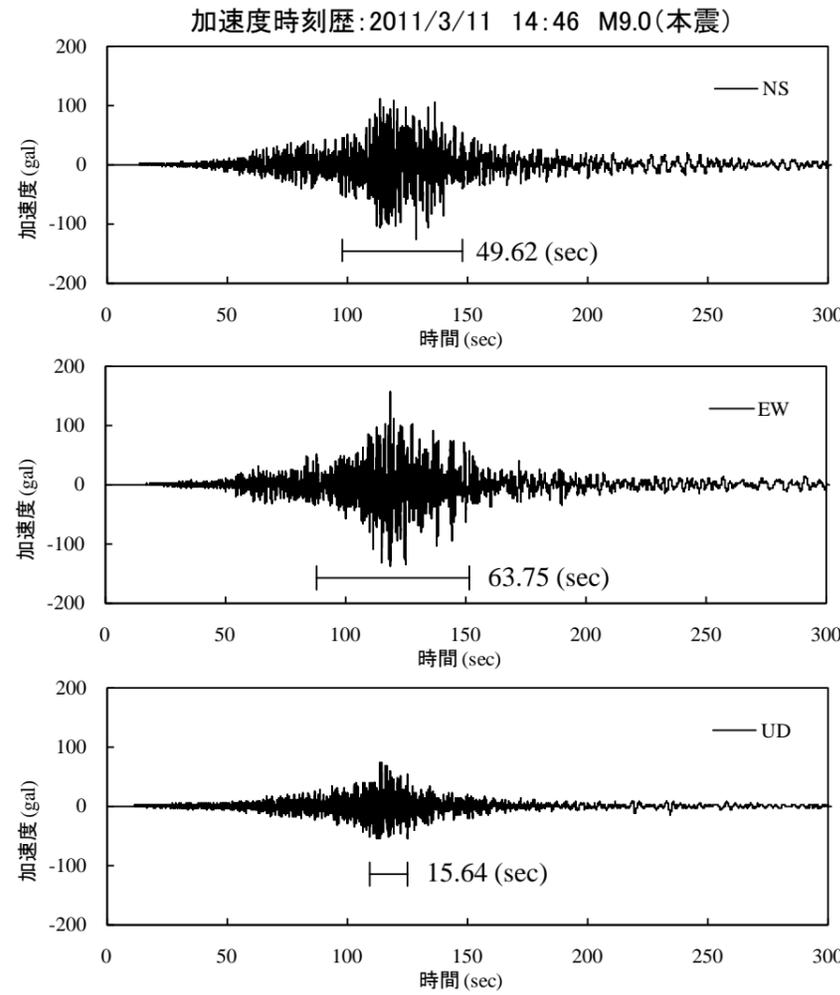
箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	4/6
地下水位	GL-2.59~3.45m	液状化対象層(層厚、深度)	B1 Bs,As,Asc GL-0~18.5m(18.5m)		B2 Bs,As,Asc GL-0~15.45m(15.45m)			
湿潤密度 ρ_t		平均粒径D50		細粒分含有率FC		塑性指数Ip		
平均N値	B1 2~18 B2 0~24	液状化強度RL20		S波速度Vs		相対密度Dr		
液状化抵抗率F		適用基準		液状化指数PL				

平面位置図



出典: 千葉県地質環境インフォメーションバンク

箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	5/6			
対象地震	2011/3/11 14:46 M9.0(本震)	観測点	K-NET浦安(CHB008)	対象地点との距離(km)	0.9	最大加速度(gal)	174.3	最大速度(kine)	31.8	継続時間(50gal以上)(s)	63.75
	82.3						16.2		14.91		
注)最大加速度、最大速度の値は3成分合成値				気象庁震度(本震)	5強	出典	防災科学技術研究所HP				



箇所名	浦安市-6	都道府県	千葉県	市区町村	浦安市	地区	入船, 美浜, 海楽	6/6
発生面積	大	地形分類	高い埋土地(干潟、遠浅の海底を埋立)	液状化発生履歴	1987千葉県東方沖地震の際に液状化が発生。今回も同一箇所液状化が発生。			
土地改変履歴	1968年から1971年にかけて埋土。							
被害概要	入船5丁目、海楽2丁目などで被害がみられない街区があるが、大部分の街区で液状化が発生							
噴砂の状況	大規模に発生	地盤の変形量(沈下、傾斜)	大	被害の程度	大			
出典・調査	東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態説明委員会							

原忠(高知大学)2011/3/12、3/18

被害状況(千葉県浦安市新浦安)

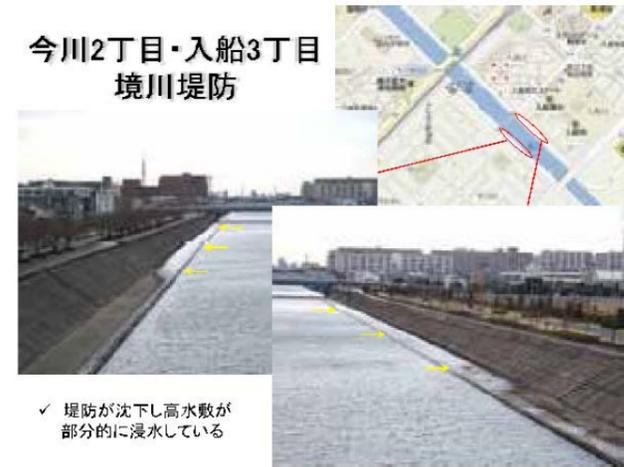


新浦安駅南口



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 歩道に凹凸
- ✓ 地盤沈下約30cm
- ✓ 歩道橋が沈下

今川2丁目・入船3丁目
境川堤防



- ✓ 堤防が沈下し高水敷が部分的に浸水している

新浦安駅北口



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 歩道に凹凸
- ✓ 建築構造物の被害無し

新浦安駅南
シンボルロード



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 道路一面に噴砂
- ✓ 歩道に凹凸
- ✓ 建物周辺の沈下激しい
- ✓ 地盤沈下約50cm

東畑郁生(東京大学)2011/3/16



新浦安駅北口
駅前通り



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 一面に噴砂が広がる
- ✓ 歩道に大きな段差

新浦安駅南
明海5丁目



- ✓ 液状化が激しい
- ✓ 道路一面に噴砂
- ✓ コンビニの不同沈下(約2°)
- ✓ 建物周辺の沈下約50cm
- ✓ 噴砂が10cm以上堆積

